

V 特別選抜等

● 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない推薦入試)

1 出願資格

次の(1)から(5)のすべてに該当する者。

(1) 次の①から③のいずれかに該当する者

①宮崎県内の高等学校もしくは中等教育学校を平成29年度卒業見込みの者または平成29年度内卒業者

②宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を平成29年度修了見込みの者または平成29年度内修了者

③本人が平成29年4月1日以前から出願日まで引き続き宮崎県内に住所を有する者で高等学校の通信制課程(広域通信制課程を含む)を平成29年度卒業見込みの者または平成29年度内卒業者

(2) 全体の評定平均値が4.0以上の者

(3) 外国語(英語)の評定平均値が4.3以上の者または実用英語技能検定準2級以上取得の者

(4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者

(5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

※出願を希望する者を推薦しようとする高等学校等は、推薦できる人数について出願前に本学に必ず確認をしてください(出願希望者個人からの問い合わせはできません)。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文、面接、出願書類(調査書・推薦書・自己推薦書)の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

| 出 願 期 間 | 選 抜 期 日 | 合 格 発 表 |
|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 平成29年11月1日(水) ～11月7日(火) | 平成29年11月18日(土) 11月19日(日) | 平成29年12月6日(水) |

● 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

1 出願資格

（1）管内枠の出願資格

平成30年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目（9ページ）を受験した者で、次の①～⑦のいずれにも該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成29年度卒業見込みの者または平成29年度内卒業者、もしくは学校において通常の課程による12年の学校教育を平成29年度修了見込みの者または平成29年度内修了者
- ② 全体の評定平均値が4.0以上の者
- ③ 外国語（英語）の評定平均値が4.3以上の者または実用英語技能検定準2級以上取得の者
- ④ 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ⑤ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- ⑥ 他の国公立大学の推薦入試に出願していない者
※但し、本学の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）に出願し不合格になった者は本学の推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）に出願することができます。
- ⑦ 本人または1親等の親族が平成29年4月1日以前から出願日まで引き続き宮崎市および国富町、綾町に住所を有する者

「全国枠」との併願はできません。但し、「管内枠」で出願した者は「全国枠」としての選抜の対象にもなります。

（注） 大学入試センター試験を課す推薦入試です。

（2）全国枠の出願資格

平成30年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目（9ページ）を受験した者で、前項「（1）管内枠の出願資格」の①～⑥のいずれにも該当する者

「管内枠」との併願はできません。「全国枠」で出願した者は、前項「（1）管内枠の出願資格」の⑦に該当する場合でも「管内枠」としての選抜の対象になりません。

（注） 大学入試センター試験を課す推薦入試です。

2 推薦者数

管内枠、全国枠ともに1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

個別学力検査は課しません。

（1）大学入試センター試験利用教科科目

平成30年度大学入試センター試験の次の教科・科目を受験すること。

| 教科 | 科目 | 科目の選択の方法 |
|-------------|---|---------------|
| 国語 | 「国語」 | 必須 |
| 外国語 | 「英語」 ※リスニングを含む | 必須 |
| 地理歴史 ・公民 | 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | 左の12科目中1科目を選択 |
| 数学 | 「数学I」「数学I・数学A」 | |

（2）大学入試センター試験の配点

| 区分 | 国語 | 英語 | 地理歴史 ・公民 | 数学 | 合計 |
|------------|-----|-----|-------------|-------|-----|
| 大学入試センター試験 | 200 | 200 | (200) | (200) | 600 |

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」（200点満点）と「リスニング」（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち、複数科目を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

(注) 3 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

（3）個別学力検査

本学の推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）では個別学力検査は実施しません。

4 選抜に係る期日

| 出願期間 | 合格発表 |
|------------------------|--------------|
| 平成30年1月15日（月）～1月22日（月） | 平成30年2月7日（水） |

● 帰国生入試

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）で、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けている者
- (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて3年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が2年未満の者
- (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を平成28年または平成29年に授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず**出願期間前**に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

| 出 願 期 間 | 選 抜 期 日 | 合 格 発 表 |
|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 平成29年11月1日（水） ～11月7日（火） | 平成29年11月18日（土） 11月19日（日） | 平成29年12月6日（水） |

● 社会人入試

1 出願資格

平成30年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合に入学することを確約できる者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

(注) 学力検査（英語）については、辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを認めます。

3 選抜に係る期日

| 出 願 期 間 | 選 抜 期 日 | 合 格 発 表 |
|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 平成29年11月1日（水） ～11月7日（火） | 平成29年11月18日（土） 11月19日（日） | 平成29年12月6日（水） |

● 私費外国人留学生入試

1 出願資格

外国籍を有し、平成28年度もしくは平成29年度日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース1、2いずれでも可〉、出題言語は日本語とする）を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

平成28年度もしくは平成29年度日本留学試験の成績、日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

また、日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。

※日本語能力試験は、平成28年度もしくは平成29年度に受験した日本語能力試験で最も高いレベルの試験の合否結果通知書《原本》を提出してください。

3 選抜に係る期日

| 出願期間 | 選抜期日 | 合格発表 |
|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 平成29年11月1日（水） ～11月7日（火） | 平成29年11月18日（土） 11月19日（日） | 平成29年12月6日（水） |

● 編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）

1 出願資格

■一般編入学（2年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当する者で、(6)の要件を満たす者

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または平成30年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または平成30年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 大学において1年以上（休学期間を除く）在学し、32単位以上を修得した者または平成30年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または平成30年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

| TOEIC | TOEFL (PBT) | TOEFL (IBT) | IELTS | 英検 |
|--------|-------------|-------------|-------|------|
| 500点以上 | 530点以上 | 60点以上 | 4.5以上 | 2級以上 |

※TOEIC-IPとTOEFL-IPTの成績は採用しません。

■一般編入学（3年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当する者で、(6)の要件を満たす者

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または平成30年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または平成30年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 大学において2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者または平成30年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または平成30年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

| | | | | |
|--------|-------------|-------------|-------|-------|
| TOEIC | TOEFL (PBT) | TOEFL (IBT) | IELTS | 英検 |
| 550点以上 | 550点以上 | 65点以上 | 5.0以上 | 準1級以上 |

※TOEIC-IPとTOEFL-IPTの成績は採用しません。

■私費外国人留学生編入学（2年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは平成30年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を1年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1又はN2の認定を得ている者、または独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者

■私費外国人留学生編入学（3年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは平成30年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を2年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1又はN2の認定を得ている者、または独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者

2 選抜方法

■一般編入学

小論文、学力試験（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生編入学

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日（一般編入学・私費外国人留学生編入学 共通）

| 出願期間 | 選抜期日 | 合格発表 |
|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 平成29年11月1日（水） ～11月7日（火） | 平成29年11月18日（土） 11月19日（日） | 平成29年12月6日（水） |

4 重要：編入学後の履修等について

| | |
|--------|---|
| 2年次編入学 | <ul style="list-style-type: none"> ① 2年次編入学者の修業年限は3年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。 ② 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、本学の定める基準に基づき認定を行います。<u>認定された単位の状況によっては、3年間で卒業できない場合があります。</u> ③ 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。 |
| 3年次編入学 | <ul style="list-style-type: none"> ① 3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。 ② 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、本学の定める基準に基づき認定を行います。<u>認定された単位の状況によっては、2年間で卒業できない場合があります。</u> ③ 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。 |